

# 順天堂大学医学部附属静岡病院眼科専門医研修プログラム (順天堂大学医学部附属静岡病院)

## 1 はじめに

当眼科専門医研修プログラムでは、大学附属病院の特性を生かした眼科における最先端の専門知識と手術手技、臨床研究の遂行法などを身に付け、連携施設ではそれらに加え、一般的な疾患や救急医療、地域特有の医療事情を学ぶことにより即戦力となる眼科専門医を育てるためのプログラムとなっています。



プログラム統括責任者 順天堂大学医学部附属静岡病院 眼科教授 太田俊彦

## 2 目的

当眼科専門医研修プログラムの目的をお示しします。

- (1) 専門研修 4 年間に於いて、専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性、社会性を身に付ける。
- (2) 眼科の 6 領域（角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器）、および他科との連携に関する専門知識を習得できる。これらを目的として年次ごとの眼科研修到達目標を設定し、定期的に達成度を評価します。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

順天堂大学医学部附属静岡病院眼科 眼科においては静岡東部における最大規模の研修病院で、幅広い分野の紹介患者があります。2021 年の手術件数は白内障 1573 件、網膜硝子体 582 件、角膜移植術 24 件、緑内障 120 件、眼瞼下垂 71 件、眼瞼内反症 23 件、斜視手術 9 件などと、眼科専門医が研修すべきほぼすべての手術を施行しています。従って、どの分野においても偏りなく広く深く最新医療を学ぶことができます。また、国内外での学会報告や論文執筆の指導もしています。

### (2) 専門研修連携施設

- (1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 日本最古の病院の一つで、眼科では日本で初めてアイバンクが設立されたのをはじめ、日本で初めてコンタクトレンズを導入し専門外来を設けるなど、先進的な眼科臨床を行ってきている。遺伝疾患、斜視、小児眼科外来など、各種専門外来も充実し、多くの珍しい症例を学ぶ事ができる。
- (2) 順天堂大学医学部附属練馬病院 東京都練馬区に立地し、白内障、網膜、小児眼科領域の手術件数が多い。
- (3) 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 加速する高齢化社会を踏まえ、高齢の眼科疾患患者への対応を幅広く学べる。
- (4) 伊東市民病院 伊豆半島東岸で数少ない眼科常勤医を擁する総合病院。
- (5) 沼津市立病院 静岡県東部の代表都市である沼津市で多くの症例が集まる総合病院。

## 4 専攻医受入数

2023年度の受入数は2人です。

## 5 研修期間

(1) プログラム全体の研修期間は4年間です。

(2) 初年度は順天堂大学医学部附属静岡病院または順天堂大学医学部附属順天堂医院で研修を行います。2年目以降は順天堂大学医学部附属静岡病院か、上記の専門研修連携施設で研修を行います。

## 6 研修計画（例）

1年目 順天堂大学医学部附属静岡病院または順天堂大学医学部附属順天堂医院で研修

2～4年目 順天堂大学医学部附属静岡病院または上記の専門研修連携施設で研修

5年目 眼科専門医試験受験

## 7 問い合わせ先

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 臨床研修センター

電話：055(948)3111 Fax:055(948)5088

E-mail:shizuoka-kenshu@juntendo.ac.jp

URL：<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/trainee/latter/>

プログラム責任者

順天堂大学医学部附属静岡病院眼科教授 太田俊彦